

3月13日（水）

きょうは、みんなが大好きな“カレー”についてのお話をします。

日本にカレーが伝わったのは、アメリカやヨーロッパの文化が、
積極的せっきよくてきに取り入れられていた明治時代めいじのことです。その時に、イ
ギリスからカレーが伝わりました。その頃の「西洋料理指南せいようりょうりしなん」とい
う料理の本に、カレーの作り方が紹介しょうかいされています。しかし、今
のカレーとは違ちがい、その時は、カエルの肉や長ねぎを使用して作っ
ていたようです。その後、今のカレーの材料の定番ていばんである玉ねぎ・
にんじん・じゃがいもが北海道を中心にたくさん作られるようにな
り、さらに日本で作った安いカレー粉こが広がったため、大正時代たいしょう
に今のようなカレーの元もとになる形ができました。

それでは、カレーについて詳しくくわなったところで、きょうも、し
っかり残さずに食べましょう。